

ジャンボ梨コンテスト1位の梨「^{あたご}愛宕」を販売

『とよたの梨』祝儀相場に期待



ジャンボ梨「愛宕」の出荷開始に合わせ、ジャンボ梨コンテストで1位を受賞した1番大きな梨をプレミアム規格として11月6日（金）市場出荷します。ご祝儀相場が予想され、秋の特産品のPR効果が期待されます。同コンテストは令和2年11月5日（木）にイオンスタイル豊田で実施します。

豊田市が掲げる『WE LOVE とよた』への取り組みとして、豊田森林組合で作られた木箱に豊田産小原和紙を敷いた器に梨を入れた、全てが豊田産尽くしの商品となっています。

JAあいち豊田梨部会では現在、26戸の農家が合わせて281アールで梨「愛宕」を栽培。昨年度の梨「愛宕」の出荷量は平箱で約25トン、化粧箱出荷が9.6トン（4,809ケース）。その中で1玉2kgを超えるものは、1%にも満たないほど大変希少です。そのため、このサイズが市場流通することは非常に少なく卸売市場で祝儀相場が見込まれます。

※取材がかなわない場合でも、11月5日（木）に限り出荷する梨の産地取材は可能ですので、ご相談ください。

日時 令和2年11月6日（金）午前7時～（化粧箱出荷はこの日限定）

場所 愛知県中央青果株式会社 豊田市場（豊田市高崎町兼近70番地）(0565) 31 - 3361

品種 梨 愛宕（あたご）

品質 無傷で着色良好

量目 1玉入り（1玉2kg以上になる予定）

形態 木箱入り、小原和紙使用

出席者 JA梨部会 川上義喜 部会長

JAあいち豊田 石川尚人 組合長

太田稔彦 豊田市長 等

※昨年は1玉2.668kgの愛宕に36万円の高値がつけました

※化粧箱1玉入り(2kg未満)は通常価格4,000円前後



▲特製木箱に2kg超の梨を詰めて出荷

《令和2年 JAあいち豊田梨部会の概要》

- ・栽培面積:28.5ha
- ・栽培農家(部会員):豊田市猿投・上郷地区の45戸
- ・出荷量:今年は全品種で約400t予定(昨年は約397t)
- ・栽培品種:愛甘水・幸水・あきづき・愛宕など8品種

愛宕梨は、果肉は柔らかく、甘みと酸味が調和したみずみずしい梨。サイズは、通常でも約1キログラム、大きいもので3キログラムを超えます。非常に日持ちが良いのが特徴で、贈答品として人気があります。

お問い合わせ先 : JAあいち豊田 営農部 猿投営農センター 選果場

住所 : 豊田市四郷町森前187番地 担当 : 砂川

TEL (0565) 46-2217 FAX (0565) 43-2031